

【主旨】 実際の事例を多職種により検討することで、職種毎の専門性を理解し、各職種としてのアセスメント力および多職種連携の質向上につながる。

(平成29年度より、日常生活圏域内で実施)

【対象】 柏市において医療・介護に携わる専門職の方など

【内容】 主に、地域包括支援センター主催で実施

90～120分間に2～3事例を検討

中央に用意した机を囲む15名程度の多職種が主に事例検討を行う

それ以外の方は、周りからそのやりとりを見守る学習形式

(周りからも、意見があれば発言できる)

【検討方法】 1事例あたり約40分

- ①各自資料を読み込む (5分)
- ②事例提出者より事例概要および多職種に確認したいこと等を説明 (5分)
- ③参加者より、事実確認および事例への対応等の意見交換 (25分)
- ④アドバイザー等より、事例に関する諸概念等をコメント (5分) *必要時

**職種の壁を越えて
意見の違いを楽しめる関係へ**

「これまでの実績 (H28～H29)」

平成28年度 柏市全域を対象に5回実施 参加者総数211名

平成29年度 地域包括支援センター主催で2回実施

①光ヶ丘地域包括支援センター主催 参加者数27名

②柏南部第2・光ヶ丘地域包括支援センター主催 参加者数67名

柏東口・柏東口第2地域包括支援センター合同 多職種事例検討会

日時：平成30年10月12日（金）13時30分～15時（90分）

場所：ウェルネス柏4階大会議室

参加数：57名（内訳 中央卓メンバー13名

傍聴者：柏東口・柏東口第2包括エリアのケアマネ28名，他16名）

検討事例：2事例

◆事例① 筋委縮性側索硬化症（ALS）の事例

- ・疾患の理解と予後について
- ・サービス変更のタイミング
- ・狭い玄関での移乗方法について

◆事例② ターミナルの方の訪問診療等導入のタイミング

- ・本人のモチベーションを保ちながら
今後必要となる医療（訪問診療，訪問看護等）
の導入について



事例検討会の様子

参加者からいただいた声（アンケート結果等より）

- ・各職種の強みを活かした意見交換ができ、患者さんにとってよかったのではないかと（医師）
- ・他の職種がどのように支援しているのかがわかり、勉強になった（歯科医師）
- ・具体的に助言をもらえたので支援に活かしていこうと思う。介護者にも今より関わって
いけるかなと思った。（事例提供CM）
- ・これからは迷わず相談したい（CM）
- ・それぞれの専門的視点からできること・提案は、とてもケアマネに入りやすい。（CM）
- ・医師からの意見をお聞きしたいので、自分から発信しようと思った（CM）
- ・自分が担当だったらどうするか色々考えさせられた（CM）